

RRS(Rapid Response System)導入による院内心停止患者の転帰の変化

1. 研究の対象

2012年から2016年の間に、院内急変で心停止となり、救急対応チームを要請された方

2. 研究目的・方法

研究目的：RRSが試験運用をしていた2012年と、本格運用となった2013年以降の院内心停止患者の転帰を調査し、RRS導入で院内心停止患者の転帰に変化があったか検証する

研究期間：2017年3月15日～2018年3月

調査内容：救急対応チームの記録から調査

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：心停止発生後の転帰、発生後の治療場所等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

住 所：大阪市都島区都島本通2丁目13番22号

電 話：06-6929-1221

研究責任者：地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

ER 外傷センター 川口 なぎさ